

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 和田 一広	
環境-25	今泉クリーンセンター収集事業	☒ 自治事務	主管課	環境センター
		☐ 法定受託事務	関連課	ごみ減量対策課
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・鎌倉市全域のごみの収集・運搬作業等を行った。
・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
・清掃車両の整備及び管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	ごみ収集運搬事業(鎌倉市全域)	粗大ごみ等の収集及び運搬事業	収集申込に対し2週間以内に収集をする(%)	100 / 10,941	100 11,818	100 7,955	100%
02	ごみ収集・分別・資源化指導啓発事務	市民及び事業者への適正分別の指導等	各地域週1回以上のクリーンステーション巡回を実施する(%)	100 / 0	100 0	100	100%
03	清掃車両整備・管理事務	収集車両修繕料など	車両整備により、計画通り稼働した車両の割合(%)	100 / 4,188	100 5,893	100 8,896	100%
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	1,989 / 1,485			
			一般財源	13,140 / 16,226		16,851	
		事業費の合計(千円)		15,129 / 17,711		16,851	
		人件費(千円)				247,915 293,120	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	22.7	18.4	16.6	29.7	31.0	33.85
会計年度任用職員	2.0	4.0	5.0	2.5	2.5	3.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	ごみ収集運搬事業(鎌倉市全域)	粗大ごみの収集等を予定通り行うことにより、適正なごみの収集に繋げ、目標を達成した。	ごみの適正な処理体制の構築に資している。	本事業を担う技能労務職について、退職者不補充に応じた収集体制の維持構築が課題である。
02	ごみ収集・分別・資源化指導啓発事務	クリーンステーションへの定期的な巡回を行い、クリーンステーションへの不適正排出の抑止し、目標を達成した。	ごみの適正な処理体制の構築に資している。	クリーンステーションは、利用する住民によって維持管理されており、職員の定期巡回を通じて環境衛生の保全を図る。
03	清掃車両整備・管理事務	ごみの収集を行うために、適切な車両整備を行い、計画通り車両を稼働させ目標を達成した。	ごみの適切な処理体制の構築に資している。	予防保全型の修繕等を実施していくことで、車両故障の未然防止に努める。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長及び廃棄物減量化等推進員

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☒ 改善・変更	☐ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
名越クリーンセンターの閉鎖に伴い、これまでの名越クリーンセンター収集事業及び今泉クリーンセンター収集事業を、令和7年度から環境センター収集事業に集約する。令和7年7月の本格的な統合に向け、さらなる効率的な収集事務体制を検討し構築していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	本市と同様の仕様、条件下で運用している施設があまりないため比較が困難である。
--------------------------	--